

※別冊子『実習要綱』参照

臨 地 実 習

<p>「基礎看護学」「地域・財託看護論」「成人看護学」「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「精神看護学」「看護の統合と実践」で学んだ理論や方法を臨地場面において体験し、科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な知識・技術及び態度を習得する。</p>				
3 3 単位 1 0 3 5 時間				
	科 目	単位	時間	目的
基礎看護学実習	基礎看護学実習Ⅰ (病院の機能と看護の役割、日常生活援助の実際)	1 単位	4 5 時間	看護の対象を身体的・精神的・社会的・文化的側面から理解し、対象に応じた看護実践の基礎となる知識・技術・態度を学ぶ。
	基礎看護学実習Ⅱ (基本的欲求に基づく日常生活援助)	2 単位	9 0 時間	
地域・在宅看護実習		3 単位	6 0 時間	在宅療養者と家族を理解し、対象に応じた看護が実践できるよう学ぶ。
成人・老年看護学実習	成人・老年看護学実習Ⅰ (生命が危機状態にある患者の看護)	3 単位	9 0 時間	成人・老年各期の対象における発達段階に合わせた特徴を理解し、生命が危機状態にある対象に応じた看護が実践できるよう学ぶ。
	成人・老年看護学実習Ⅱ (周手術期にある患者の看護)	3 単位	9 0 時間	成人・老年各期の対象における発達段階に合わせた特徴を理解し、周手術期にある対象に応じた看護が実践できるよう学ぶ。
	成人・老年看護学実習Ⅲ (合併症・二次障害予防のための自己管理が必要な患者の看護)	3 単位	9 0 時間	成人・老年各期の対象における発達段階に合わせた特徴を理解し、合併症・二次障害予防が必要な患者のセルフケア獲得にむけた看護が実践できるよう学ぶ。
老年看護学実習	老年看護学実習Ⅰ (老年期の対象の理解、生活の質を維持するための看護)	3 単位	9 0 時間	老年期の対象と医療・介護をうける場の特徴を理解し、健康障害がある高齢者に応じた看護過程が展開できるよう学ぶ。
	老年看護学実習Ⅱ (高齢者の健康障害に応じた看護)	3 単位	9 0 時間	老年期の対象の特徴を理解し、健康障害がある高齢者に応じた看護が実践できるよう学ぶ。

小児看護学実習	3 単位	9 0 時間	小児各期の対象の特徴を理解し、健康障害がある小児とその家族に応じた看護が実践できるよう学ぶ。
母性看護学実習	3 単位	9 0 時間	周産期の対象の特徴を理解し、褥婦と新生児に応じた看護が実践できるよう学ぶ。
精神看護学実習	3 単位	9 0 時間	精神に障害のある対象を理解し、対象に応じた看護が実践できるよう学ぶ。
統合看護実習	3 単位	9 0 時間	患者を総合的にとらえ複数患者に対する優先順位を考えた看護を実践しチームの一員としての看護活動をとおして看護の質を維持・向上させるための看護管理を学ぶ。